

！スクリーレス端子台 取扱い注意事項

製品を安全にご使用いただくために、一般注意事項とあわせてお読みください。

ご使用に際しましてご不明な点は、お客様相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

ご使用上の注意事項

- 製品仕様をご確認の上、ご使用ください。
- 分解、改造は行わないでください。
- ご使用電圧、電流に合わせた製品の取り付け（絶縁距離の確保）、接続電線、プリント基板の銅箔パターンを考慮してください。
- 定格電流は1極に使用できる最大値を表しています。1極に複数本の電線を接続できる製品は、合計で定格電流以内となるようご使用ください。
- 接続電線は銅線以外はご使用になれませんのでご注意ください。
- 電線の接続、解除は電源を切った状態で行ってください。
- 使用可能電線範囲の電線以外は挿入、接続しないでください。
- 電線の被覆を剥く際には、各製品の指定の長さに剥いてください。ストリップゲージ付きの製品では、ストリップゲージをご利用ください。
- 電線は1つの挿入孔に対し、1本としてください。2本以上接続すると不具合の原因となります。
- 電線の接続・解除は、ボタンを下限まで押しながら（押し込んでから）行ってください。（製品によっては単線接続の場合、ボタン操作なしに接続できるものがございます。）
また、電線は最後まで完全に挿入してください。
- 端子台の電線接続回数が、ボタン操作の回数で制限される場合がございますので、操作の頻度に応じてご確認の上、ご使用ください。
- コネクタ型の製品のプラグとレセプタクルとの挿抜は、無負荷（通電OFF）の状態で行ってください。
- はんだ付けの際、フラックスの量が多いと接続部に入り、接続障害等の原因となることがあります。適量を用いてください。
- 基本的に丸洗い洗浄に対応しておりません。ご注意ください。
- 製品仕様欄に、電線の径、断面積を表示しておりますが、mm²とAWGとが一致しない場合にはmm²の方を適用してください。
- コネクタ型の製品のプラグとレセプタクルとの挿抜は、こじらず真っ直ぐに行ってください。
- はんだ付けの可否はフラックス上がりも含め、ご使用になれる機器や実装される基板等の実条件に左右されますので、実装条件によるご確認をお願い致します。
- 海外規格の承認を得た製品につきましては、海外規格毎に海外規格上の制約がございますので、ご注意ください。
- 接続した電線に張力が加わらないよう、接続電線の固定を考慮してください。
- 製品を取り付ける際は、仕様の締め付けトルクを超えた過剰な締め付けトルクを加えないでください。
- 電線の接続・解除作業時には、作業に必要な力以上の負荷を製品に加えないようご注意ください。
- 連結式の製品につきましては、品質上の問題が発生する恐れがございますので、製品の組み替えは行わないでください。
- 連結式の製品は、計算上得られた全長、基板取付孔ピッチより小さく出来ていることがあります。その際は、孔に合うようピッチ方向にやや引き伸ばしてください。
- ボタンに白い付着物が見えることがありますが、ボタン操作を円滑にするために塗布しているフッ素樹脂が滞留したものであり、品質に問題はありません。
- はんだ上げたより線は接続不良の原因となることがありますので使用しないでください。
- 各製品は全て屋内使用を目的として設計されております。屋外でのご使用、保管はできません。
- 直射日光の当たる場所、結露や氷結の発生する場所でのご使用、保管は避けてください。
- 振動や衝撃が加わる環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温、低温、多湿、塵埃等の多い環境や水、各種油、薬品（洗剤含む）、腐食ガス等がかかるような環境でのご使用、保管は避けてください。
- 詳細については、最新の図面、仕様書等ご請求の上、ご確認ください。本内容と個別の図面、仕様とが異なる場合、個別の図面、仕様が優先されます。